

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年3月23日（月）

2 確認箇所

- ・既設多核種除去設備
- ・2号機タービン建屋東側

3 確認項目

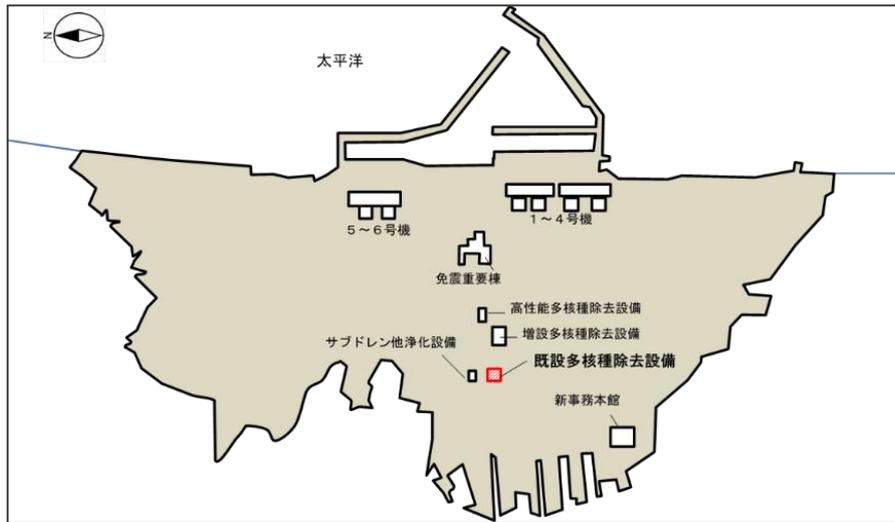
- (1) 既設多核種除去設備（C）吸着塔6C入口pH計ラック内での漏えいへの対応状況
- (2) 1/2号機共用排気筒の解体ブロックの仮置き状況

4 確認結果の概要

- (1) 既設多核種除去設備（C）吸着塔6C入口pH計ラック内での漏えいへの対応状況について

本日12時3分頃に既設多核種除去設備（C）吸着塔6C入口pH計ラック漏えい警報が発報したため状況を確認した。

- ・現場確認時（13時20分頃）は東京電力社員及び協力企業作業員が漏えい箇所及びその周辺の漏えい水の拭き取り作業を実施していた。（写真1）
- ・その後漏えい箇所の袋養生を実施した。（写真2）
- ・漏えい箇所はサンプルポンプ入口弁ボンネット部であった。当該箇所は、3月13日に発生した漏えい箇所のうちの1箇所と同じ箇所であり、応急措置で袋養生を実施していた。（3月17日現場確認済み。）
- ・東京電力によると、警報発報に至った経緯は、吸着材交換作業に伴いろ過水による水張りを実施していたところ、サンプルポンプ入口弁ボンネット部で漏えいが発生し、漏えい水が養生してあった袋からあふれて警報が発報したとのことであった。今後詳細な原因分析を行い再発防止対策を検討するとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
漏えい発生現場の状況



(写真1-2)
漏えい発生箇所の拭き取り作業の状況



(写真1-3)
pH計ラックドレンパン外の拭き取り作業の状況



(写真2)
袋養生の状況

(2) 1 / 2号機共用排気筒の解体ブロックの仮置き状況について

1 / 2号機共用排気筒解体工事は昨年8月1日から作業を実施しており、排気筒上部の約60mを23ブロックに分けて解体する計画のうち、15ブロック目(筒身)の解体が3月19日に、16ブロック目(筒身)の解体が3月22日に完了したため、解体された筒身の仮置き状況を確認した。
・解体された筒身は、2号機タービン建屋東側のヤードにシート養生し架台に固定された状態で仮置きされていた。(写真3)



(写真3-1)
筒身の仮置き状況



(写真3-2)
架台への固定状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。